



羽柴秀長の書状を文化財展示室にて特別公開

人気ドラマの主演が実際に養父市に残した軌跡

羽柴（豊臣）秀吉の弟である羽柴秀長が、なんば村の弥兵衛に与えた鮎漁免許状を 2026 年 6 月 17 日（水）から 7 月 28 日（火）まで、養父市文化財展示室（養父市関宮）にて初公開します。



実際に残されていた書状

天正 8 年（1580 年）6 月 25 日、秀吉の命で但馬攻めを行った羽柴秀長が、なんば村の弥兵衛に与えた鮎漁免許状が現在も市内に残されています。

この免許状は、川舟を戦闘に協力させたことへの恩賞と考えられます。

書状には羽柴小一郎長秀と書かれており、羽柴美濃守秀長と改名する前の書状です。長秀と記された書状は全国で約 20 点しか現存しない希少な史料です。

養父市を羽柴秀長が治めたことを示す重要な物証として、養父市文化財展示室で本物を特別に公開します。

また、八木城主の八木豊信の肖像画（複製）も展示中です。

公開期間 2026 年 6 月 17 日（水）から 7 月 28 日（火）まで（月曜日は除く）
※職員による資料の説明は公開期間中の平日のみ対応可能です

公開時間 午前 9 時から午後 5 時まで ※施設の開館時間

公開場所 関宮地域局分館 1 階 図書室内文化財展示室（養父市関宮 613-6）

入館料 無料

その他 写真撮影は可能ですが、フラッシュを用いた撮影は禁止しています。

【問合せ】

教育部 歴史文化財課 課長：向 秀樹 担当者：谷本 進

電話：079-661-9042